

様式第2号（第5条関係）

平成29年8月22日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 鵜川和彦



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成29年7月13日 ～ 平成29年7月13日まで
- 2 旅行先 東京都
- 3 目的 (株)地方議会総合研究所主催研修「議会基本条例の活かし方」
- 4 関係書類 別紙のとおり



25,000

日 時	平成 29 年 7 月 13 日 10:00～12:30
視 察 先	アットビジネスセンター池袋駅前別館 603 号室
調 査 事 項	議会基本条例の活かし方
対 応 者	吉 田 利 宏
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背 景 ② 特 徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策 提言、課題な ど)	今回の研修は、有意義であった。 多少、うちの議会は、進んでいるという自負があるが 700 近く 全国で議会基本条例ができている現在、幾つもの参考事例があ り、直ちに研究調査し取り入れたいと思う。 研修は、7つのセクションにわかれており、 1.議会基本条例を定めるいぎとは。 2.議会基本条例の基本的な要素は。 3.議会基本条例と他の議会例規との関係は。 4.説明責任の正体とその実現は。 5.制作立案機能の活性化のための工夫は。 6.行政センスを手に入れるしかけの充実。 7.事務局、図書室強化を本当に実現する。 以上である。参考事例を列記すると、 ①法律による行政の原理 ②任意的条例 ③東京財団の議会基本条例の3つの必須要素 ①議会報告会 ②請願者・陳情者の意見陳述 ③議員間の自由討議 ④議会改革フォーラム編(議会改革白書)96 頁長野基准教授 の作成図 ⑤議会基本条例に議会運営について重要事項を加えるなら 例えば、議長・副議長の立候補の所信表明とか、議会報告 会とか、自由討議など、議会会議規則にはないので議会での 改正の検討が必要。 ⑥議決責任:「議員としての採決態度」にのみ責任を持つと いう考え方を否定すること。 ⑦議会報告会 ①「報告」をメインに据えていないか? ②「これからのこと」「地域で関心が高いこと」をテーマ に入れているか? ③事務局職員が運営していないか? ④特定の住民の長説法を許していないか? ⑤議員と住民が対立関係になっていないか? ⑥議会報告会の報告を行っているか? ⑧大村市議会の議会答弁事項進捗状況調書 ⑨議会図書室と図書館のデファレンスなどである。早速研 究したい。